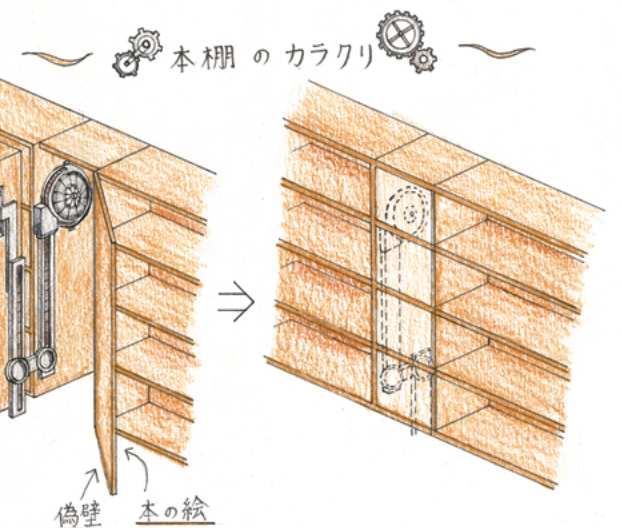
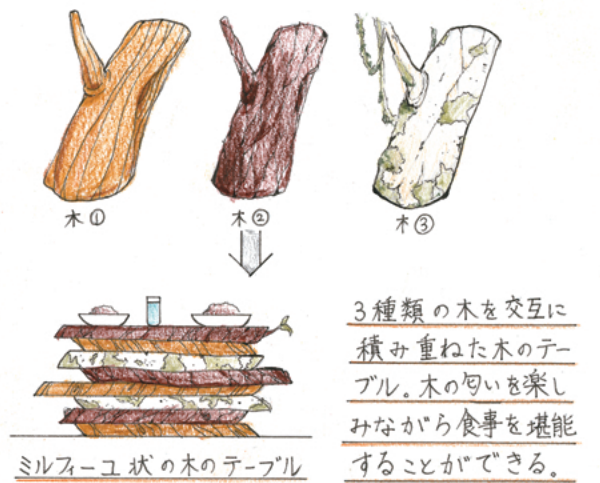
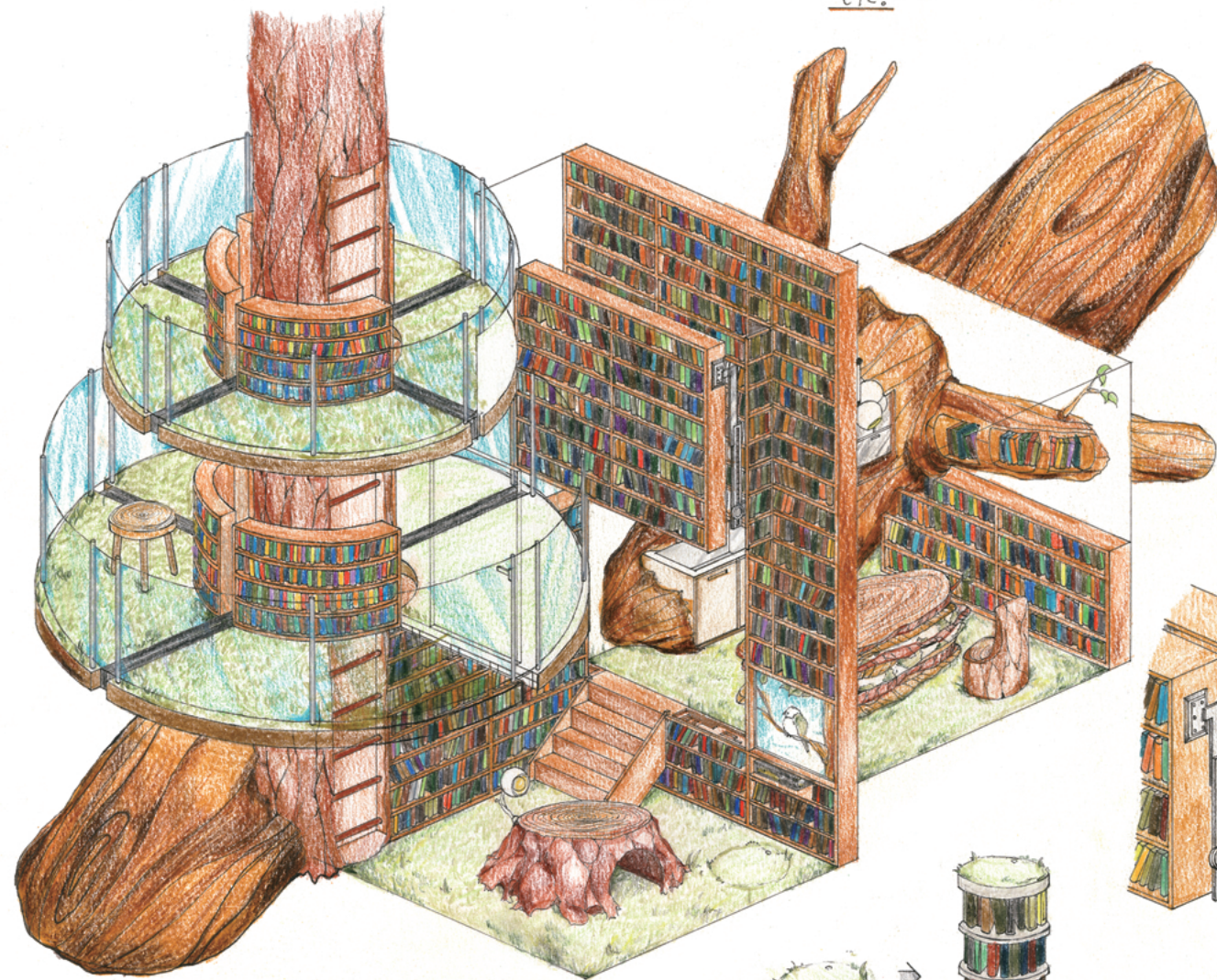
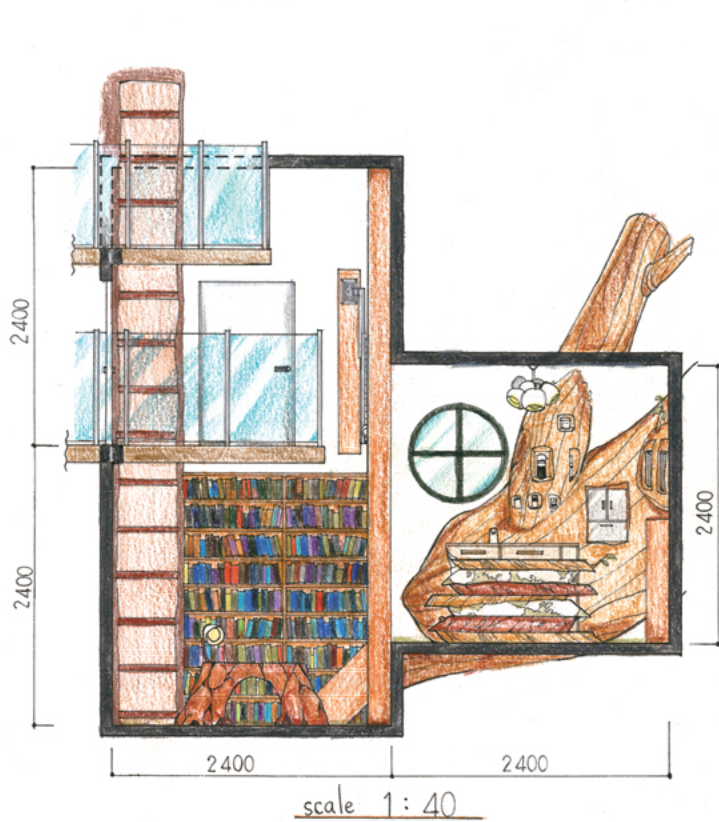
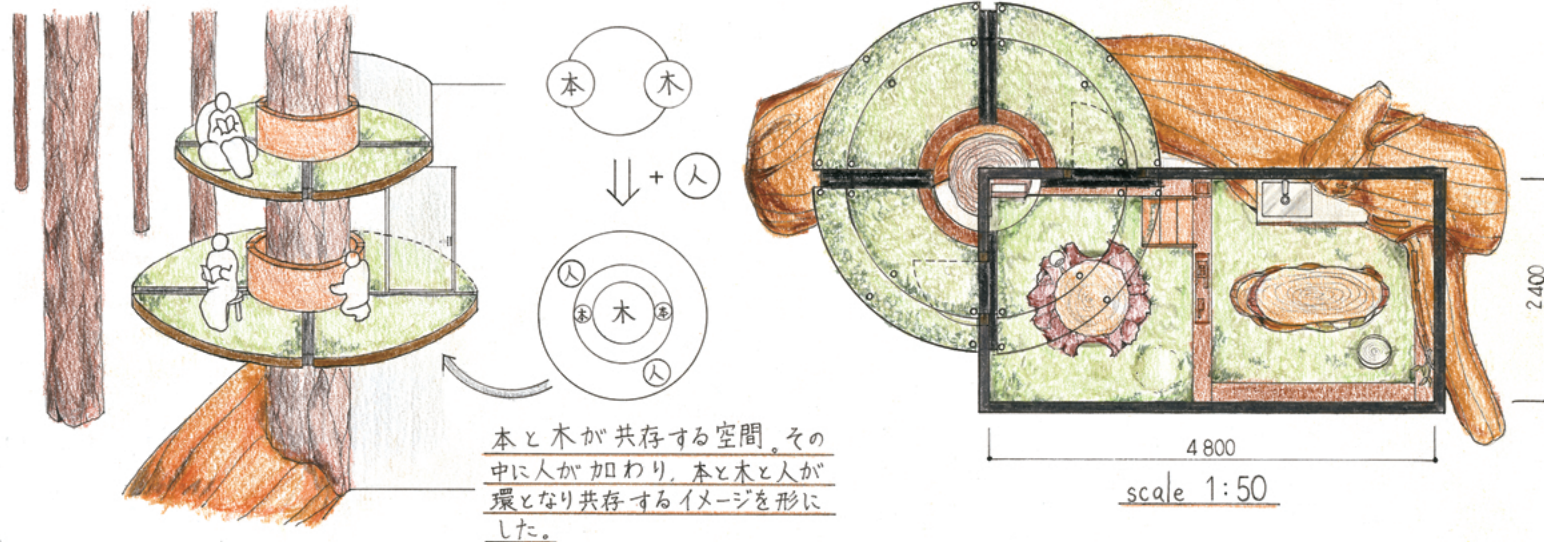


# 本と木の共存

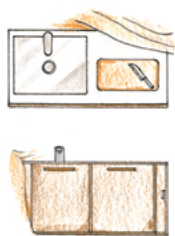
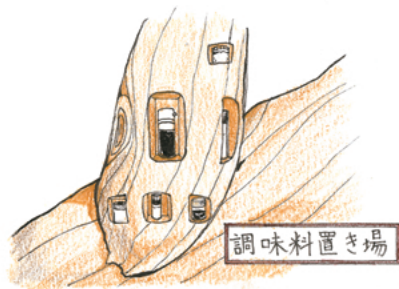
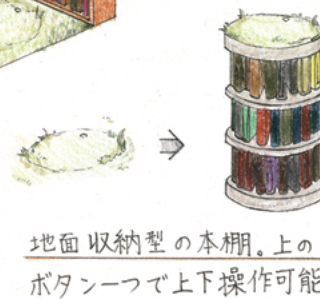
## コンセプト

現代ではハイテクが進み本さえもスマホ1台で読めるようになった。そこで今一度原点に立ち返り自然の中で本を読む空間を創造しようと考えた。

本の原点である古代エジプトのパピルスに始まり、書物は元来植物や木から生まれた自然と人知の賜物だ。つまり本と木は非常に親和性が高く、古来からの記憶にそれが植えつけられてきたため、潜在的に人々は本と木の共存を心地良く感じる。ワクワクする中でもどこか心地良いそんなリビング空間をここに提案する。



読書部屋とリビング空間を分けるためのカラクリ。読書に集中したいときはカラクリを閉じ、お腹がすいた時はカラクリを開ける。部屋を移動する度、カラクリにより発生する待ち時間や音がこの空間のワクワク感を加速させる。



火を使わない、簡単な料理がしたい時に…  
※ 火気厳禁

木が傷みにくいように防腐処置を施し、切り欠く部分をできるだけ浅くする。